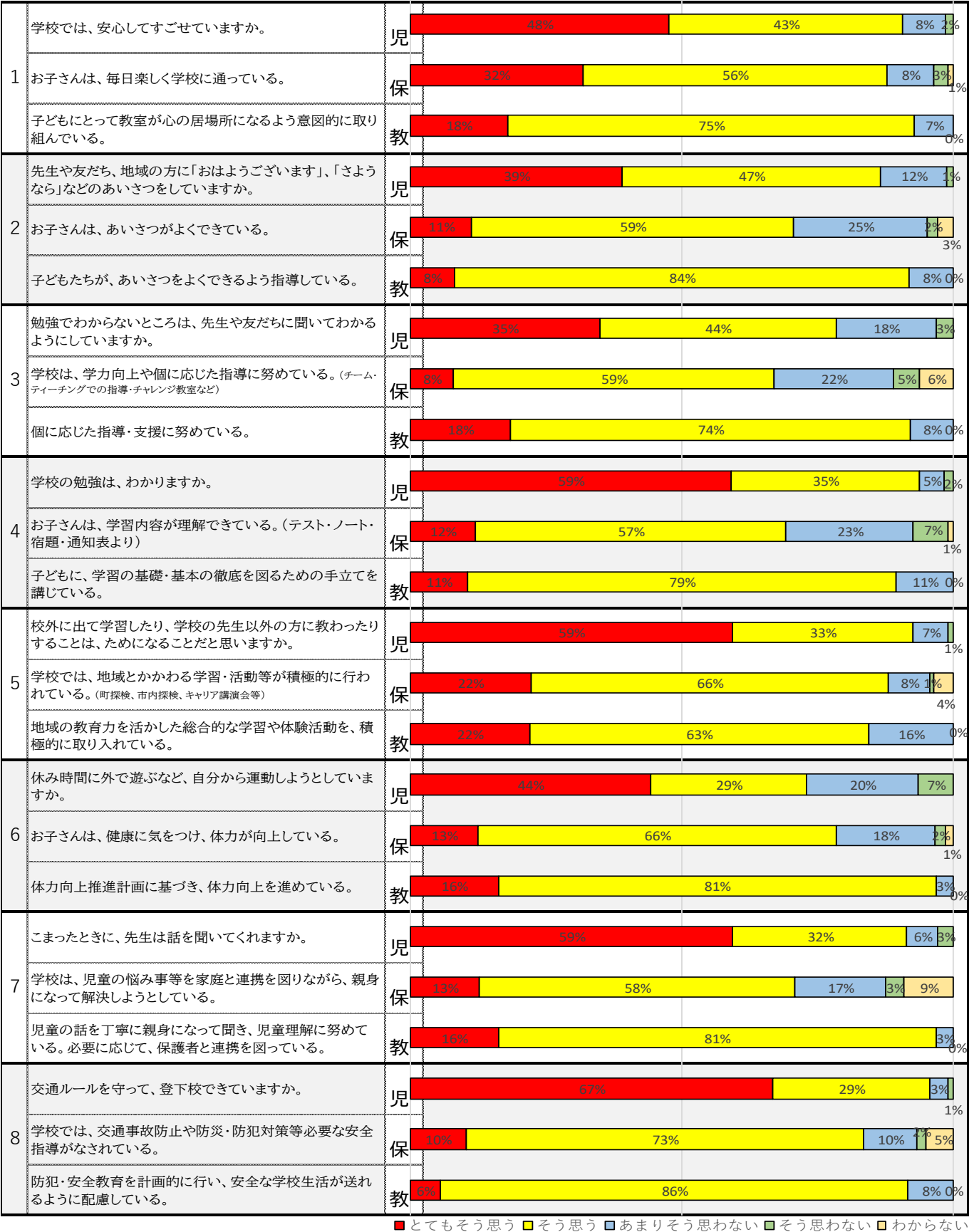


保護者 様

学校評価アンケート結果について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。年末に実施のご協力をいただいた学校評価アンケートですが、児童と教職員の結果と比較し、まとめましたので、お知らせします。

令和6年度学校評価3者比較



1 3者の比較から、5項目について以下のようにまとめました。

【2 挨拶について】

挨拶ができていると回答している児童は90%近くおり、ほとんどの児童は、自分は挨拶ができていると感じているようです。保護者は、肯定的な評価が70%程です。学校では、92%の教職員が挨拶をよくできるように指導していると回答しています。

学校では日ごろより、自分から誰にでも挨拶できるよう指導しているところです。実際の学校での児童の姿は、自分から挨拶をできる・挨拶をされると返せる・挨拶されても返せない、という児童に分かれ、学校内で自分から誰にでも挨拶することに課題を感じています。

校内には、様々な来校者(保護者・保護者以外の見学者・他校の教職員など学校外の大人・工事業者等)が出入りしますが、先日、校内で作業している工事業者さんに自分から挨拶する高学年児童もおり、大変気持ちの良い場面も見られました。また、卒業した6年生は、学校生活をよりよくしようと、自分たちで企画した挨拶運動を実施するなど、児童の中でも課題意識を抱いていることがわかります。

今後、さらに児童が自信をもって挨拶をしていると言えるように、保護者・地域そして児童とも話し合いながら、挨拶のあふれる気持ちの良い学校にしていきたいと考えます。

【3 学習への取り組み、個に応じた指導・支援について】

児童の79%が、肯定的に回答しています。一方で、18%はあまりそう思わない、3%はそう思わないと否定的に回答しています。保護者の67%は肯定的な評価となっておりますが、27%は否定的な回答でした。教職員は、92%が個に応じた指導・支援に努めていると回答しています。

今年度、学校においては、学年によって少人数指導教員や学年・教科支援員などを活用して学級の人数を半分に分けたり、学習の内容が児童にとって身近なこととのつながりを感じられるような進め方をしたりして、児童の学習意欲を高め、前向きに学習に取り組めるよう努めてきました。そのような中、“わからないことをわかるようにしている”と回答できていない児童が21%いることがわかりました。次年度は、児童が自分でわかろうとするために努力するよう、わかることの楽しさや喜びをより一層味わえる学習活動を目指して、職員一同、工夫改善を図ってまいります。

【5 校外での学習や、地域・学校職員以外の方との学習について】

児童の92%、保護者の88%が肯定的な回答となり、高い期待と評価があることが分かりました。教職員の回答も88%と、積極的に取り入れていることがわかります。

今年度は、各学年それぞれが校外学習による体験的な活動を実施することができました。また、3年生の鉄鋼団地やスーパーマーケット見学、2年生の町探検など、他にも校外に出て学ぶ機会を設定しました。更に、校内でも保護者や地域の方々に来校いただき、大変有意義な学びができました。1年生では朝顔の弦を使ったリースづくり、4年生の理科の学習補助、5・6年生の家庭科でのミシン操作の補助をしていただきました。6年生のキャリア教育講演会では19種の職業についてご本人から講話をいただきました。これらのほとんどは、3名の学校支援コーディネーターのご尽力によるものです。

今後も、保護者や地域人材との懸け橋となる学校支援コーディネーターを活用しながら、保護者や地域の皆様と協力し、児童にとって豊かな体験活動や、たくさんのかかわりの中で楽しく学べる場を設定するよう努めてまいります。

2 保護者からの自由記述について

お忙しい中、多数のご意見を頂戴し、ありがとうございました。ここで全てのご意見に対してお答えすることはできませんが、複数ご意見のあった項目について記載いたしました。

【給食の時間について】

○給食の時間をもう少し長くしてほしい。

給食の時間は、準備から片付けまでを含めて45分間としています。午前中の授業の時間や給食センターの配送・回収の時間を考え、設定しているところです。食事の量や食べるスピードは児童によってそれぞれで、決められた時間内に食べることに大変な思いをしている児童もいることと思います。各学級では、児童が協力して手早く準備・片付けができるよう指導しながら、可能な限り時間に幅をもたせるなどして、様々な児童の実態に合わせられるよう努力しているところです。

今後も、限られた範囲の中ではありますが、児童一人一人の気持ちに寄り添い、また、ご家庭とも相談しながら、楽しい給食の時間を過ごせるよう工夫改善してまいります。

【登下校について】

○安全指導をしてほしい。

児童の登下校については、学校だより等でもお知らせし、ご家庭でもお子さんと話題にしていただけるようお願いしています。今年度は、事故は起きていないものの、事故につながるような登下校の仕方や、通行する方の妨げになるような歩き方をしている状況が続いています。

学校では、各学級や全校児童が集まる集会で具体的な場面を挙げながら安全指導をしています。しかし、依然として改善には至っておらず、さらなる指導に加えて、早急な対応が必要だと感じています。PTAの旗振りの際にお声掛けいただいていることに加え、地域の方々とも連携しながら、児童が自分たちで安全に登下校することに必要感を持てるよう指導を工夫していきたいと思います。

また、児童同士で声を掛け合っていく姿を作り出していくことも大切だと考えています。委員会活動のような児童の自治的な活動を効果的に活用しながら、児童が自分たちで安全に登下校できるような取り組みも検討していく必要があると考えています。

次年度も、学級・学年の枠を超えて、学校の教職員がチーム一丸となって、協力体制を整えてまいります。お困りのことや不安なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。児童が楽しく学校に通い、保護者の皆様がお子さんを安心して学校に通わせられるよう、いただいた一つ一つのご意見やアンケートの結果を真摯に受け止め、より良い教育活動を実施していきます。ご協力、ありがとうございました。

☆次ページ以降、児童・保護者・教職員の結果を載せておきますので、ご覧ください。☆